



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
学校だより 2月号
令和6年2月1日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
☎ 75-0372

学校HP



「多様性を尊重すること」と「自分がされて嫌なことは、人にはしない」ということ

毎月、学校だよりを発行し終わるとほっと一息ですが、月日の流れは早く、あっという間に月末が近づき、次月の学校だよりの発行時期を迎えます。毎月、この巻頭言にどんなことを書こうか、読んでいただく方に少しでも印象に残る“ネタ”がないか考えます。

2月号についても、書く“ネタ”を探しているとき、前年度はどんなことを書いているか振り返ってみました。前年度の2月号は、「“主語”はだれ？」という題で記していました。（覚えていただいている方がいらしゃれば、すごく幸せです）「主語を自分ではなく、他者に置き換えて物事を考えると“思いやり”ある行動につながり、居心地のよい学校になっていくのではないか」といった内容でした。その内容を改めて読み直していると、ふとある一文に目がとまりました。『自分がされて嫌なことは、人にはしません。』子どもたちに思いやりのある行動を促すときに、わかりやすい言い方として教師がよく使う言葉ですが、最近、この言葉がうまく伝わらなくなっているのではないかという疑念が浮かんできました。「自分がされて嫌なことは、人にはしません。」の『自分がされて嫌なこと』という言葉。嫌だと思ふ感じ方は人それぞれだから、何か人を傷つける行為について指導をするときに、「今やったことを自分がされたら、どんな気持ちですか？」と問いかけても、「別に自分はされても嫌じゃありません。」と言われたら、言葉に詰まってしまうかもしれません。

最近、よく耳にする「多様性」という言葉ですが、多様性を尊重することは、一人一人が持つ個性を大切に、違いを認め、だれもが幸せに共生していく上でとても大切なことです。現在は特に「ジェンダーフリー」や「インクルーシブ」といった考え方が強く尊重される時代です。この「多様性を尊重する」ことは、だれもがしっかり考えていかなければならないことであり、そういう社会の実現に向けて行動していくことが求められます。しかし、この「多様性」という言葉を間違えて理解し、使用すると利己的な行動や考え方につながるような気がします。先ほどの「自分がされて・・・」の話でも、嫌だと思ふことは人それぞれだから、別に自分は嫌じゃないから、何をしてもよいという偏った考え方につながります。人それぞれの考え方は大切にすべきですが、“人”として大切にすべきことは、決して変わることはありません。例えば、先日の能登半島地震の際に、その混乱に乗じて、家屋に盗みに入ったり、困っている人に親切に声をかけ手助けをし、後から高額な請求をする詐欺まがいのことが横行したりする話を聞きました。そんなことを聞くと、災害で混乱し、生活もままならなくなっている人に対して、よくそんなことができるなど本当に腹立たしく、いたたまれない気持ちになります。「いや自分がその立場でそういうことをされても、やられた方が悪い、だまされる方が悪いと思うので、自分がされて嫌なことには当てはまりません」なんていう言い逃れは決して許されません。「いろいろな人がいる多様性の時代だから、そういう考え方の人もいるから仕方がない」とはならないです。自分がどう思おうと、人として決してやってはいけない行為は多様性が尊重される時代になっても、変わることはないはずで、子どもたちにも、「別に嫌じゃないよ」という言い訳をした時には、自分がどうこうではなく、相手がどんな気持ちになるかを想像させること、自分がした行為は人として決して許されない行為であることを毅然とした態度で教えることが必要な時があります。教師として、一人の人間として、人生の先輩として、よき大人になるための指導を子どもたちにしっかりと行っていきたいと思います。



2月に入りました。先日の大雪にはびっくりしましたが、これからもまだまだ寒い日が続きます。2月は「逃げる」と言われるように時が駆け抜けていくと思いますが、「新1年生体験入学」や「6年生を送る会」など出会いと別れに向けた気持ちを高めていく重要なつなぎの月です。子どもたちが、日々の出会いを楽しみ、ワクワクしながら、そして別れを感じ、一日一日感謝の気持ちを持って、穏やかに学校生活を送れるように教職員一丸となって頑張っています。今月も保護者・地域の皆様のご理解・ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

校長 亀井 敬介 教職員一同

書き損じはがき、ありがとうございました。

「ユネスコの寺子屋運動」と京都府PTA協議会の基金のために書き損じはがきの回収にご協力いただきありがとうございました。はがき離れが進む現状の中、全部で104枚集まりました。ご協力いただいたはがきは、ユネスコ協会と京都府PTA協議会の方へ分けて送らせていただきます。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

除雪作業お世話になりました。

1月下旬の大雪の際には、児童の通学路確保のため、各地域や保護者の皆様には、通学路の除雪作業を大変お世話になりました。おかげさまで、大雪にもかかわらず児童は事故もなく登下校できました。今後も降雪の際には、お世話になれば幸いです。ありがとうございました。

